

## 補助金・交付金 チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	住宅リフォーム補助金	開始 年度	H24 年度
団体名	住宅所有者	団体等 の状況	<input type="checkbox"/> 課税事業者 <input type="checkbox"/> 免税事業者
助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則 ・函館市住宅リフォーム補助金交付要綱		

### ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	市内に自らが所有し、かつ居住する住宅のバリアフリー化、断熱化、耐震化に要する工事費の一部を補助する。
目 的	(目 的) 既存住宅のバリアフリー化、断熱化、耐震化を図ることで、環境負荷の少ない、かつ、安心・安全な住まいの実現を支援するとともに、市内の建築産業の活性化を図る。
・ 効果	(効 果) <ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリー化により、住宅内の事故を未然に防ぎ、安全性を確保することができる。</li> <li>・断熱化により、地球温暖化防止に寄与することができる。また、本市が表明しているゼロカーボンシティ宣言におけるゼロカーボンの推進にも寄与することができる。</li> <li>・耐震化により、地震による住宅の倒壊を防止し、居住者の生命や財産を保護することができる。</li> </ul>

### ○補助事業の収支状況 ※上段:補助事業等に要する経費 [下段]:補助対象経費 (単位:千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	計
		市	その他				
収 入	H29	13,654					13,654
		[13,654]					[13,654]
	H30	13,295					13,295
		[13,295]					[13,295]
	R元	12,648					12,648
		[12,648]					[12,648]
支 出	R2	11,721					11,721
		[11,721]					[11,721]
	R3	11,127					11,127
		[11,127]					[11,127]
	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等		計
	H29	13,654					13,654
	[13,654]					[13,654]	
H30	13,295					13,295	
	[13,295]					[13,295]	
R元	12,648					12,648	
	[12,648]					[12,648]	
R2	11,721					11,721	
	[11,721]					[11,721]	
R3	11,127					11,127	
	[11,127]					[11,127]	

## 補助金・交付金 チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	住宅リフォーム補助金
----------------	------------

### ○基本的視点の再チェック

基 本 的 視 点		適	不適	説 明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・快適で安全・安心な住まいづくりの実現を支援することができる。</li> <li>・バリアフリー・断熱・耐震化により市民生活の向上が図られる。</li> <li>・地球温暖化防止に加え、高齢化や地震に対し、備えることができる。</li> </ul>
2	必要性(補助しなければならぬ事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	資金不足等の理由でバリアフリー・断熱・耐震化できない市民を支援するとともに、市内の建築産業の活性化に寄与している。
3	自主性(自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	自主性の視点は、当該事業には合致しない。
4	有効性(他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	快適で安全・安心な住まいづくりを促進することができる。

### ○財政的視点のチェック

財 政 的 視 点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の用途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input type="checkbox"/>	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

## 補助金・交付金 チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	住宅リフォーム補助金
----------------	------------

### ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)
当該事業は、既存住宅のバリアフリー化、断熱化、耐震化に係る工事費用の一部を補助することにより、環境負荷が少なく、かつ市民の安全・安心な住まいの実現を支援するとともに、市内の建築産業の活性化を図ることを目的としており、当該事業を活用して改修した既存住宅の件数および、改修工事費用（事業費）が当該事業の効果測定の指標となる。
(達成状況)
令和3年度は、60戸の既存住宅が改修を実施し、その事業費は11,127千円である。



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	既存住宅のバリアフリー化、断熱化、耐震化により住宅性能が現在の標準的な水準となることにより、快適で安心・安全な住まいづくりおよび市内の建築産業の活性化に寄与している。

### ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他	(見直しの内容) 制度利用者の拡充および補助金利用の公平性を図るため、補助金の利用を10年間に1回(項目毎)とすることや浴室改修に係る築年数の制限、基準額の見直しおよび見積額との比較による補助金額の算定の見直しを行った。
	(見直しの時期) 令和3年度
(廃止の理由)	(その他の内容)
(廃止の時期)	

### ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	次回チェック年度(予定)
令和6年度		令和6年度